

乗っ込みグロを考える。



1月24日 南薩 49cm 1.9kg

真冬に釣れるクロを寒グロと呼びますが、寒グロの中でも産卵前で脂をたくわえ、ふっくらとした丸みのあるクロを乗っ込みグロと呼んでいます。釣れる時期としては、1月から3月ぐらいまでで、産卵前のクロで大きい魚は50cmを超える魚拓サイズまでが狙えます。ただ釣り上げるのは簡単ではないです。それは、水温が一年で最も低いとされる時期と産卵前で神経質になっていて、動きが活発ではない等々…。そこで今回は私なりに、乗っ込みグロを考えてみようと思います。

〈マキエサ・ツケエサ〉

一日分のマキエサとして、オキアミ(生)3kgを2角。アミエビ1/8角を2角。これに、配合エサをマルキュ1のV9・アミパワーグレススペシャル沖撃ちスペシャルを各1袋ずつ準備して、2回に分けて作ります。

この2回に分けるとするのは、何かトラブルがあつて釣りにならないとか、海水が入つてマキエサがビチャビチャになるとかで、釣りができなくなるのを防ぐために2回に分けて作ります。

まず、アミエビをこまかくつぶし

て、においを出させます。次にオキアミは、大粒はつぶしますが、小粒はあまりつぶさずに、原形をまいた方がクロにスイッチが入りやすくなります。

余談ですが、私は一年中アミエビを入れます。アミエビは、集魚力がずばぬけて強いのと、オキアミのつなぎ、オキアミを底層まで運ばせる、マキエサを遠投させやすくする等々、アミエビは、私の釣りには必須です(私もアミのにおいでスイッチが入ります)。

これにツケエサ用として、オキアミ(生)を半角を準備して、小粒はそのまま使つて中粒は頭を取つて使い、大粒はムキ身にしたりストレートにつけて流れの中を釣ったり、アピルでわざと大きくつけて目立たせ、エサ盗りやクロがどのような反応をするか見たりします(大抵、頭だけ取られて身は残つて来ることが多いです)。**マキエサで大事なことは「まく」「まく」「まく」…とにかく「まく」。**

〈仕掛け〉

前々号の「寒グロの本番準備」…で、ある程度の仕掛けについては、重複するので割愛して、問題はライン。

乗っ込みグロは、大型グロを想定してのライン選びをする必要があ

ります。「クロの型が小さいからこのぐらいで」とか「太くすると食いが悪くなるから」等の理由で細いラインを使つてブチッ。「あと少しだろ」とか「ウキごとやられた」等々。全てがクロではないかも知れませんが、数少ないアタリ。いつ大型が食つて来ても対処できるハリスの号数を考えて下さい。

私の場合、朝のスタートは2号、次は1.75号ですが、今の時期は、ここまでです。1.5号はほとんど使いません。やはり、獲るための号数で勝負して下さい(逆に2号に上げるのもアリです)。

〈寒グロ釣りと乗っ込みグロ釣りの違い〉

特に、何が違うということはないですが、ていねいな釣りを心掛けると、より乗っ込みグロに近づけると思います。

まず、マキエサのオキアミは原形を意識してなるべくつぶさない。アミエビは、多く混ぜるとマキエサの効果が上がります。ツケエサは、小粒のきれいな頭付きを選ぶと、一発で吸い込んでくれます。

仕掛けは、軽い仕掛け、重い仕掛けどちらでも良いですが、ウキ止めをきつちりつけて、ウキを沈ませないでウキを見て釣りを組み立てると、ツケエサが盗られたか、残つて



マルキューのV9・アミパワーグレススペシャル・沖撃ちスペシャルで、たくさんのクロを釣らせていただきました!! ありがとうございます!!



いるか、わかりやすくなります。ツケエサが小粒なので、ハリも小バリを選びます。ただ、細軸は、魚が大きいと伸びる可能性があるため、中軸の小バリ。私はオキアミカラーと黒色を使い分けます。

〈実釣〉

1月24日(日)に南薩の坊津に行つて来ました。朝からイサキが連続ヒットで「今日は、いいぞー」と思



1月31日も良いクロが釣れました!!



2月7日にも大隅半島の間泊で乗っ込みグロと再会しました!!

つたのもつかの間、それからは、オナガの子(最大30cm)に包囲され、時間だけが過ぎ、11時ぐらいいに待望の口太グロ・約800g。ヨッシャ。それからしばらくツケエサが盗られたり、残つて来たり。

潮は、はつきりせずトホホ…。とりあえず、ハリス1.75号をきれいな物に変え、ハリを黒色からオキアミカラーに戻し、タナを4ヒロから3ヒロに浅くして少し遠投をすることに(20mぐらいから25mぐらい)。

すると、浮いていたウキがゆつくりゆつくり入つて竿引きのアタリ。極力、糸を出さずに竿でためて少し巻いて、時間をかけてでも糸は出さずに上がつて来たのは、立派な口太グロ。

重さは1.9kg、長寸49cm。時計は

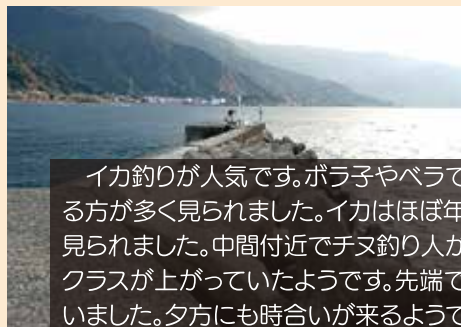


昼の12時ジャスト。大型は突然です。ハリスを新しくタナを浅く、ハリも結び直して、一投目。バッチリです(あと1cmが遠い50)。

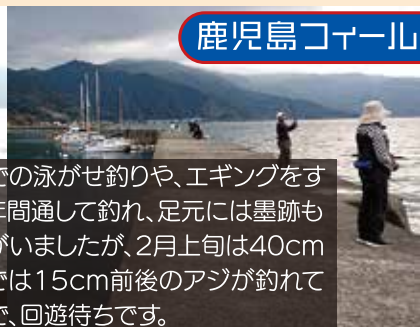
翌週の1月31日(日)も坊津に行つて、写真の釣果です。乗っ込みグロはこれからです。レッツゴーです。

腰をすえて一尾を獲りましょう!!

鹿児島コールドニュース(錦江湾奥) 浮津港



イカ釣りが人気です。ボラ子やペラでの泳がせ釣りや、エギングをする方が多く見られました。イカはほぼ年間通して釣れ、足元には墨跡も見られました。中間付近でチヌ釣り人がいましたが、2月上旬は40cmクラスが上がっていたようです。先端では15cm前後のアジが釣れていました。夕方にも時合いが来るようで、回遊待ちです。



福山港



港が広く、人気の福山港。普段はマダイやチヌ、キス釣りが有名な港です。最近ではマダイの30cm前後のものがパツパツ釣れています。また、小アジの回遊もありこの日は子供たちがサビキ仕掛けで釣り上げていました。同じように横並びで釣っていても釣果にムラがあるようで、サビキ仕掛けにエサを小さくつくと釣果アップにつながります。回遊に当たると連続ヒット! アメウオも交ざる中、よく釣れていました。左側の堤防ではイカスミの跡も多く見られます。また、先端部分に沈み瀬があり、クロも狙えるとのこと。



つれたよー!!